



かでな

# 議会だより

第169号

令和元年  
8月発行題字：津波古望花  
嘉手納中学校3年

## 令和元年6月定例会 ~主な内容~

令和元年度 6月定例会 ······ P2

令和元年度 臨時会 ······ P3

町政を問う！15名の議員が一般質問 ··· P4

題字紹介・サークル紹介 ······ P20

**中央区からエイサー開き!!**

嘉手納町議会ホームページ

嘉手納町議会

検索

町議会を傍聴しましょう！定例会は、3・6・9・12月に開かれます。



# 令和元年度補正予算2億2562万円を可決



埋蔵文化財発掘調査委託料



Wi-Fi機器設置工事



兼久海浜公園ソフトボール場照明取換工事



防災備蓄倉庫設置工事

## 6月定例会

令和初の定例会が6月11日から17日の会期で開かれた。本定例会では議案5件・報告1件を可決した。一般会計補正予算・後期高齢者医療特別会計補正予算などが審議された。

### 令和元年度 6月補正

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	2億2,562万3千円	95億4,700万9千円
後期高齢者医療	354万4千円	2億5,952万5千円

### ◆主な議案等に対する議員の賛否

件名	議決月日	出席者数	議決者数	賛成者数	反対者数	1 仲村 志喜屋 孝也 一也	2 花城 勝男 京一 義雄	3 宇榮原 京友 盛義	4 古謝 森友 雄	5 安間 森盛 政雄	6 奥垣 森貴 秀人	7 新垣 政貴 秀人	8 照屋 唯和 人	9 照屋 唯和 人	10 仲村 石嶺 兼栄	11 仲山 嶺邦 雄均	12 當山 崎博 美均	13 田嶺 田博 均	14 田康 美榮	15 知隆 念樹	16 徳直 里樹
						議決月日															
専決処分の承認を求めるについて(嘉手納町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	5/21	16	15	13	2	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
※専決処分とは、予算や条例など議会の議決・決定を経なければならない事柄について、緊急時で議会を招集する時間ががない場合等に、議会の議決・決定の前に町長が意思決定すること。専決処分後は議会で報告して承認を求める必要がある。																					

「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席

議長は賛否同数以外は採決に加わらないので「-」で表示。

# 意見書・決議を臨時会にて全会一致で可決!! ～令和元年 第26、27、29回臨時会～



## 沖縄防衛局長へ要請（5月21日）

平成3年4月1日早朝、北谷町にて日本人女性と在沖第三海兵師団の米海軍三等兵曹が死亡しているのを被害者女性の子供が発見し事件が発覚した。県警は、米海軍三等兵曹が知人の日本人女性を殺害した後、自殺したと断定した。米海軍三等兵曹に対し今年1月、被害女性への接近・接触を禁止する軍事保護命令を出しているにもかかわらず外出許可を与えている。米軍の対応に対して厳しく監督責任を問うものである。

# 令和元年5.21 在沖米海兵隊員による 女性殺害事件に対する 抗議決議

米軍の規律の乱れに対し深く憂慮する。本議会は道路交通法違反が発生するたびに、米軍当局や関係機関に厳重に抗議し、綱紀肅正の徹底や再発防止を強く要求してきたが、一向に改善されない現状に強い憤りを禁じ得ない。

よつて、①被害者への謝罪並びに完全なる補償を行うこと。

平成31年4月17日北谷町にて  
嘉手納基地所属の米空軍兵が酒  
気帯びで乗用車を運転しバイク  
に追突しけがを負わせる事故を  
起こし現行犯逮捕された。同月  
21日、26日、5月5日、12日に

た。また、第353特殊作戦群駐機場等拡張整備工事に伴い、MC-130特殊作戦機が、今年2月から住民居住地に近いパパループに駐機し、日夜鳴り響く地上騒音や悪臭に周辺住民の怒りは頂点に達している。パパループにMC-130特殊作戦機を駐機させないことを強く求め

から5回にわたり、嘉手納飛行場で16人の兵士が降下訓練を強行した。合意違反にも関わらず、今年で3度目の降下訓練であり強い憤りを禁じ得ない。パラシュート降下訓練の例外的措置の撤廃と、降下訓練を実施しないことを強く抗議した。

# 令和元年5.21 米空軍兵等の相次ぐ道 路交通法違反に対する 抗議決議

嘉手納町での米軍バラ  
シユート降下訓練及び  
MC-130特殊作戦  
機等のパループへの  
駐機に対する抗議決議

屋良シリーガー

民から健康面を不安視する声が高まっている。その不安を解消するためにも早急に汚染源を特定し、有効な対策を講じることを強く求め、嘉手納基地への立ち入り調査の実現を要請した。また、町内全井戸、地下水脈、比謝川全支流の水質調査を実施することと、水生生物の影響調査及び比謝川汚泥の調査を県に強く要請した。

# 令和元年7.2 PFOSなど有機フッソ 素化合物による水質汚 染に 関し、嘉手納基地へ の立ち入り調査や比謝 川・町内全井戸の水質調 査を求める意見書

# 町政を問う

題字：照屋 唯和男 議員

<b>安森盛雄</b>	.....	P 5
東部駐車場を問う		
<b>知念隆</b>	.....	P 6
観光防災の取り組みは		
<b>仲村渠兼栄</b>	.....	P 7
共同売店の設置を		
<b>古謝友義</b>	.....	P 8
P F O S 等を問う		
<b>照屋唯和男</b>	.....	P 9
町の防災設備品の使用期限、管理を問う		
<b>當山均</b>	.....	P 10
神聖なカーが汚染。早急に汚染源を確定し除染に向け、町の積極的な働きかけを		
<b>宇榮原京一</b>	.....	P 11
北区内に位置する嘉手納公園のリニューアルは		
<b>花城勝男</b>	.....	P 12
現嘉手納町子どもの貧困を問う		
<b>仲村一</b>	.....	P 13
備蓄品の管理体制は		
<b>奥間政秀</b>	.....	P 14
町営駐車場の利用状況と活用は		
<b>石嶺邦雄</b>	.....	P 15
パークゴルフ場の進捗状況は		
<b>志喜屋孝也</b>	.....	P 16
シルバーカートの導入を問う		
<b>田仲康榮</b>	.....	P 17
毒性化合物「P F O S」基地立ち入りを		
<b>田崎博美</b>	.....	P 18
ごみの減量化を問う		
<b>徳里直樹</b>	.....	P 19
子どもの虐待防止対策の推進は		

15人の議員が  
一般質問



(質問順)



安森 盛雄

## 東部駐車場を問う

問 「道の駅かでな」近くのエルモ（労官）駐車場は、エルモ利用者だけではなく、色々な方が利用している状況でエルモ利用者が使用できない時もあると聞く。

答 当局は把握しているか。また、道の駅のリニューアルによって、駐車場はどのように変化するか。開錠時の駐車状況で数台駐車されていて、数時間後には十数台駐車されている状況を確認した。エルモに確認したが苦情等はないとのことである。道の駅体系を道の駅駐車場として一体制的な管理を考えている。

問 嘉手納そば裏側の緩衝地をコインパークリングなどにできないか伺う。

答 建設時における臨時駐車場としての利用、また、建設資材置場、建設作業員の駐車場などの

利用を予定。

問 平日のドーム、陸上競技場の駐車場はほとんど使用されてない状況が見られることから、その駐車場を地域の方や事業者等に貸し出すことができないか。

答 当然に駐車料金ももらい、町の行事などについては優先することが絶対条件であることとして防衛予算を使用しているので局側との相談ができないか。

答 野球場等へ観戦の時に利用されている方の駐車場として広く利用されている状況である。また、防衛補助9条事業として目外使用の指摘がされるのが懸念される。この提案については、慎重に考えていかなければならぬと考える。

問 東区周辺には、空き地などまた、車庫のシェア駐車場としての活用ができるのか。その調査を専門の不動産会社へ委託して調査等ができるのか。

答 商工会を含めて、協議していく必要があると考える。

## 待機児童の現況を問う

問 2月末時点の待機児童数が108人との報告であったが、4月1日時点で37名、5月1日時

点で29名という報告について減ったことについては担当課の大変な努力をされたことに対しても深く感謝申し上げたい。そこで、29名という経緯と資料の説明を伺う。

答 2月末時点での全申込者数から認可保育所、2号、3号の保育認定の入所予定者数を除いた数である。

問 今後の計画として、小規模または、法人などの設置を進めていくのか伺う。

答 さらなる施設整備を行い、定数増を図る必要があると考える。年齢別の待機児童の人数から、小規模保育施設ではなく私立認可保育所等の設置が必要だと考える。

## スクールゾーンの安全性と危険交差点を問う

問 中学校前の通りが5月13日から新しく開通されたが児童生徒の安全性は保たれているか。

答 7時30分から8時30分まで交通規制をしており、安全性は保たれていると考える。

答 駐車場は現体制での取り組みを予定だが、今後プロセス等を確認し必要に応じ推進体制について検討を行う。

問 現在の各課の状況について副町長の見解は。

答 今後の機構改革は町長以下みんなで考え、必要なのか現行のままいくのか、協議し検討していきたいと考える。



嘉手納中学校 朝の登校風景

したいと考える。

## 機構改革を問う

問 国の働き方改革も実践されいく中、産業環境課または全体の機構改革を検討できないか。また、来年度に向けて庁舎内で議論を深めていくことができる。



隆 知念

**問 大規模災害時に想定される観光難民への対応を支援するための予算が計上されたが、本町の取り組みについて伺う。本町における年間観光客数と観光防災支援の予算額は。**

**答** 年間観光客数は55万人。予算は1538万円を見込んでいます。

**問 観光防災事業の内容は。**

**答** 備蓄倉庫、避難所へのwi-Fi整備、多言語避難誘導看板等の設置に限られている。

**問 災害時にお湯なして作れる液体ミルクの備蓄ができるか。**

**答** 非常用食料及び飲料を備蓄しているが、いずれも賞味期限が5年以上のものを採用している。液体ミルクは保存期間が半年から一年間と短いため備蓄品としての採用は考えていない。



沖縄市のネウボラ(結ぼーと)



安全対策として歩道帯の設置を

**問 妊娠から出産、子供が就学するまで切れ目なくサポートするのが子育て世代包括支援センター（通称ネウボラ）である。**

**答** 全国の4割を超える761自治体で設置されているが、本町にも「ネウボラ」を設置する考えはない。

**答** ネウボラについては県内近隣町村の動向も踏まえ設置について検討していきたい。

**問 設置する場合、設置場所はどこを考えているか。**

**答** 設置する場合は子ども家庭課内に設置を考えている。

**問 設置する場合、設置場所はどこを考えているか。**

**答** 設置する場合は子ども家庭課内に設置を考えている。

**問 交差する私道に一時停止の標識やハンプ等の設置ができるか。**

**答** ご指摘の道路には里道と個人名義の土地がある。自治会長から地主の承諾書及び周辺住民の同意書を添付した要望書の提出を受けた後、ハンプ等の設置を検討していきたい。

**問 児童生徒に対する食品ロスの教育は行っているか。**

**答** 現在、学校では給食の食べ残しを減らすために子ども自身が食べ切れる量を選んだり、クラス全体で協力し、完食を目指したペロリ運動に入れている。

**答** 教育委員会としても給食の完食を目指したペロリ運動を進めています。

## 子育て世代包括支援センターの設立を

## 町道48号線、通学路の安全対策を図れ

## 食品ロス削減の取り組みを図れ

**問 町道48号線、旧比嘉酒店近くの丁字路交差点は通学路になつており、安全対策の必要があるが、水釜高層住宅から同交差点まで歩道帯を設置できないか。**

**答** 墓碑移転が不可欠と考えており、かなりの時間が必要なので引き続き調査を踏まえながら検討していきたい。

**問 交差する私道に一時停止の標識やハンプ等の設置ができるか。**

**答** ご指摘の道路には里道と個人名義の土地がある。自治会長から地主の承諾書及び周辺住民の同意書を添付した要望書の提出を受けた後、ハンプ等の設置を検討していきたい。

**問 児童生徒に対する食品ロスの教育は行っているか。**

**答** 現在、学校では給食の食べ残しを減らすために子ども自身が食べ切れる量を選んだり、クラス全体で協力し、完食を目指したペロリ運動に入れている。

**問 食品ロス削減推進法が5月24日の参議院本会議において全会一致で可決・成立した。**

**答** 同法は政府や自治体、企業の責務や消費者の役割を定め国民運動として問題解決に取り組むよう求めているが、町内各学校に





古謝 友義

のにはなじまないと思われ、その実施は考えていない。また、一括交付金の交付要綱に個人、法人の負担に充当する事業、現物給付等については対象外である。

## PFOs等を問う

問 調査結果は、町民へは周知されているか。

答 嘉手納町のホームページに記載している。

問 井戸から大量のPFOs等が検出されているが、町内全ての井戸の水質検査を実施する予定はあるか。

答 町内全ての井戸について沖縄県に対し、調査を要請している。

問 ホームページだけでの情報の周知では足りないのではないか。

答 情報は広報紙へも掲載予定。

## 防災セットへの補助を

問 町内全ての世帯に、一括交付金を充てて防災セットの補助金は出せないか。

答 町内全世帯への防災セットに関する補助は公助により行うも

問 水釜護岸景観整備事業は、今後どのようにやるのか。

答 平成30年度までに基本設計までは完了している。平成29年度までに基本設計までは完了している。

今後は県の機能強化も確認しながら検討していく。

問 護岸工事はいつ頃着手するのか。

答 3月に工事が発注されていて、すでに着手している。防護柵の復旧については、9月末までには完了予定。

問 昨年は野國總管まつりが中止になつたが、工事はまつりに影響はないか。

答 仮置きしていたコンクリートブロックは兼久海浜公園内から撤去しており、まつりには影響はない。

問 水釜護岸は波の影響を小さくするリーフがないため、強い波が押し寄せる。

問 沖合への防波堤の建設を国、県に要請できないか。

答 副知事要請時に、防波堤機能強化の際前面部海側の改良も検討して欲しい旨伝えていたが、具体的な回答はまだない。

## 町民が遊べる場所を

問 屋良城跡公園内にパークゴルフ場建設の構想はできないか。

答 住民アンケート調査やワークショップなどでパークゴルフ場の要望がなく、すでに基本設計も終了していることから計画変更は難しい。

問 兼久海浜公園内のビーチ・バーベキュー広場は計画に入っているか。

答 基本設計の中では海の広場、入江の護岸とバーベキュー施設等をイメージしている。



町内施設の充実を



早急な護岸工事を



照屋唯和男

## 町の防災設備品の使用期限、管理を問う

問 非常食の賞味期限を把握しているか。破棄せず有効活用する方法、対策は。現在、どれだけの在庫があるか。

答 各担当課において把握。台風襲来時に避難者の食料、各自治会や学校での避難訓練や野國總管まつりの防災ブースにおいて、防災対策の啓発に利用し7200食を廃棄することなく利用。現在庫は1万5800食余。購入金額は総額約1600万円。

問 賞味期限が迫った非常食を破棄するのではなく、有効活用する方策は。今後の計画等は。

答 令和3年度以降は定期的に一定数の食料を購入する。

問 賞味期限が平成30年2月とあるがどうするのか。

答 処分する。二次利用として家畜の飼料等に使用したい。

問 防災設備品の管理や使用方法の訓練等はどのように考え、また防災設備品の使用許可権限はどういうに、マニュアル等は周知されているか。

答 毎年実施している総合防災訓練時に倉庫内の備品チェック、町の避難所運営マニュアルにおいての初期対応にあたり各施設の指定管理者に防災備蓄品の使用権限が与えられている。各自治会以外の施設管理者に対する取り組みは不十分であると認識しており今後の課題。

## 基地騒音、悪臭による健康被害調査と対策を

問 難聴による町民の聴力障害の調査が必要では。町は国や県がやるべきとデータを持たないのか放置する形になるのでは。

答 原因者の負担がメーンということで、町は国の責任において実施すべきと主張している。

問 これまでの健康調査によるデータの活用は。基地被害への訴えでの効力は。

答 町民の感じる身体的負担や精神的負担の実態を把握できる根拠として活用。各種要請等の裏づけとしての効果がある。

問 最近の苦情件数と内容は

答 今年1月に75件、2月104件、3月49件、4月55件、5月43件。苦情の内容は、深夜、朝の騒音、その他の騒音、排ガス、即応訓練等に関すること。

問 人口千人あたりの基地被害の苦情件数は。一般町民のモニタ

問 今後の調査及び被害減少に向けてのデータの活用方法は。

答 前回の調査結果との比較、資料としてまとめ行政等での有効活用を検討。

## 基地使用協定の順守へ向けた町の取り組みと効果、現状は



昼夜問わず騒音を出すMC-130

問 今登録をして、データ収集及び基地被害苦情110番への状況提供と周知にあたっては。

答 苦情件数の合計及び人口千人あたりの苦情は、平成30年度、沖縄市226件、千人当たり6件、北谷町201件、千人当たり7件、嘉手納町は825件、千人当たり60.7件、件数、人口割合ともに近隣と比較すると突出している。

嘉手納町基地対策協議会に苦情110番への積極的な通報、情報提供をお願い、町民の代表とし、登録モニターの機能を十分に担っていると期待。

問 SNSで町から発信する方法、文字で現状を訴える形で苦情件数として取り上げては。

答 苦情110番に電話をかけている方々は高齢の方々で、日中は町外に仕事で出ている方々は苦情が寄せられないという状況。

SNSでオンラインマップというところも100%有効か要検討。

問 苦情件数が少ないのでは、国はそんなに苦になつていないと勘違いされている部分があるがどう取り組むか。

答 基地対策協議会の皆様に協力を仰ぎたいと考えている。



## 當山均

**神聖なカーガ汚染。早急に汚染源を確定し除染に向け、町の積極的な働きかけを**

**問** 県企業局が平成30年に実施した基地周辺の水質調査で、字屋良共栄会が所有管理するシリガーニング等から、発がん性のリスクが指摘されている有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）が高濃度で検出された。

字屋良はカーガを拝所と定め、畏敬の念を抱き管理している神聖な遺跡であり、憤りを禁じ得ない。

早急に汚染源を特定し、除染に取り組むよう積極的な働きかけを切望する。町長の見解を伺いたい。

**答** 中部市町村会としても、PFOS等が住民の飲料水や環境を汚染していることを問題視して

おり、日米の関係機関に対しても米軍基地周辺水域のPFOS等による汚染について、沖縄県の基地内立入調査への協力を求めるとともに、汚染物質を除去するための適切な措置を講じるよう抗議要請することを予定している。

今後も状況の推移を注視しながら、県や防衛局等に対しPFOS等に関する状況の提供と問題解決に向けた適切な対策を求めていきたい。



高濃度のPFOS等が検出された、屋良シリガーニング

**問** 移設予定の検査場・整備場・洗濯クリーニング場からの多量な排水により、比謝川の汚染、水質悪化などの影響が危惧するところから、環境影響評価（環境アセスメント）の実施を強く求めたが、その後の町の取り組みを伺う。

**問** また、環境影響評価実施状況について伺いたい。

**答** 本町も県に対し、平成29年2月に当該移設事業を環境アセスメントの対象事業とするよう要請している。

沖縄防衛局へ確認したところ、国の環境影響評価法や県条例に該当しない事業であるものの、自然環境の保全に最大限配慮するという観点から、自主的に平成30年度において環境調査を実施している。

今後の調査については「施設の供用後に実施する予定」とのことと、施設からの排水設備に関しては「環境への影響に配慮することは当然のことであり、排水設備についても関係法令の排水基準を満たすよう適切に整備していく」との回答を得ている。

**問** 東区には防衛省買い上げ用地が多く点在する。その中でも屋良ローソン裏の用地はまとまつた広い面積を有しているが現時点での利活用方針を伺う。

**答** 今年度から工事に着手する道の駅かな機能拡充事業における建設時の臨時駐車場、資材置き場、作業員の駐車場として利活用する予定。

**問** 沖縄防衛局HPに、行政財産の個人、民間に対する有償使用許可が掲載されていた。第1回申し込みは令和元年5月24日から同年6月6日と既に期間は経過しているが、個人でも有償で一部使用することが可能となる制度ができたことに対する町の対応を伺いたい。

**答** 防衛局から一般公募を始めたいという情報があつたので、防災備蓄倉庫設置及び屋良小の駐車場として活用できる用地、屋良ローソン裏を含め7、8か所の基本的に大きな面積の用地は町が使う意向があることを伝え、地の活用方針は決まっていない。

**問** 平成28年12月議会において「牧港倉庫群の知花地区への移設に伴う環境影響評価の実施」を取り上げた。

**答** 移設予定地には比謝川の支流「与那原川」が横断しており、

## 防衛省買い上げ土地の町の利活用方針は



宇榮原 京一

- 北区内に位置する  
嘉手納公園のリニューアルは**
- 問 北区内にある嘉手納公園は、奥まった場所にあり見通しが悪い、施設の老朽化によりリニューアル化に向けたこれまでの取り組みと今後の計画について次の事項を伺う。現在の公園の利用状況は。
- 答 利用者がほとんどいない状況。
- 問 これまでの取り組みと課題は。
- 答 区民との意見交換会を3回、説明会、自治会への説明会を各1回。課題は用地物件補償。
- 問 同公園内の埋蔵文化財発掘調査の結果と今後の対応は。
- 答 埋蔵文化財試掘調査の結果、現表土下約2.8メートルの深さから、グスク時代約600年前の土器が出土。また7か所の建物の柱跡と思われる遺構が見つかり、さらに深いところから縄文時代約3500年前の土器、石

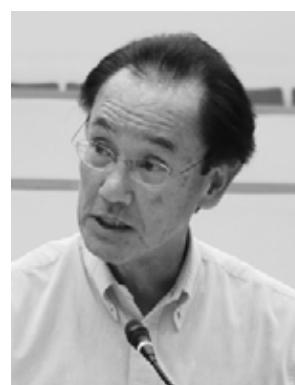


嘉手納公園の試掘調査で、土器や建物の柱跡と思われる遺構が発見される。

- 器具が見つかっている。このことを受け、今年度埋蔵文化財発掘調査と用地物件補償交渉を引き続き行い、次年度用地物件補償契約、令和3年度に整備工事を予定。**
- 完成の目処は、達成可能か。**
- 答 令和2年度に整備工事の実施を予定していたが、埋蔵文化財発掘調査と用地物件補償交渉を実施のため、令和3年度に整備工事の実施を予定。
- 建設工事までの間、取得した土地（空き地）の有効的利用は検討しているか。**
- 答 今年度の埋蔵文化財発掘調査の資材置き場、もしくは現場への進入路として利用。
- 通学路の安全点検は。**
- 答 每年9月、嘉手納警察署、各小中学校、都市建設課、子ども家庭課が合同で通学路の安全点検を行っている。また各学校では授業参観日等に親子安全下校を実施し、安全マップを参考に親子で安全点検を行っている。
- 通学路の危険箇所と思われる場所は。**
- 答 屋良小学校区で6か所、嘉手納小学校区で6か所。
- ゾーン30の設置状況は。**
- 答 ゾーン30は、嘉手納署にて設置。3か所。
- 各小中学校前道路にスピード抑制のハンプやカラー舗装の設置の考えは。**
- 答 屋良小学校北側の道路にはハンプも設置。学校側より設置要望があつたら検討する。
- 嘉手納小学校前は午前7時30分から8時30分までは、車両の乗り入れが規制されていたが、解除の理由と再規制はできないか。また、学校からの要望はないのか。**
- 答 歩道が整備され、かつガードパイプが設置されているため、
- 通学路の安全対策は。**
- 答 小中学校、都市建設課、子ども家庭課が合同で通学路の安全点検を行っている。また各学校では授業参観日等に親子安全下校を実施し、安全マップを参考に親子で安全点検を行っている。
- コミュニケーション・スクールの導入を。**
- 答 学校と地域住民、保護者が力を合わせて学校の運営に転換する。地域と共にある学校に転換する。
- 事業の概要、実施によって期待される成果や課題は。**
- 答 学校運営協議会は、学校運営、職員人事について関与する。学校評議員会は、校長の求めに応じ個人の立場で学校運営に意見を述べる。
- 学校運営協議会と学校評議員会との違いは。**
- 答 学校運営協議会は、学校運営、職員人事について関与する。学校評議員会は、校長の求めに応じ個人の立場で学校運営に意見を述べる。
- 学校や保護者、地域住民に対する説明、教育委員会の役割は。**
- 答 フォーラムを開催し制度の理解及び浸透を図る。
- 学校の運営状況を地域住民に對して情報発信はどのように。**
- 答 学校だよりやホームページの活用。日曜参観における学校説明会やPTAの集まり等で説明を行う。地域住民には、「広報」で活動を広く周知する。

※ゾーン30とは、区域を定めて、時速30kmの速度規制とする。

再規制は公安委員会の決定が必要。学校からの要望はない。



花城 勝男

**嘉手納町  
子どもの貧困を問う**

問 嘉手納町子どもの実態調査(貧困問題)アンケート結果から、解決すべき課題は。

答 県の実態調査と同様に厳しい貧困結果となり、公共料金が支払うことができず、就学援助制度を知らない町民が多い。子ども世帯が抱える問題を把握し、支援へつなぐための調整役として子ども支援コーディネーターを2名配置で対応している。

問 沖縄県は2030年までに、子どもの貧困率29・9%を10%へ目指しているが、嘉手納町の取り決めは。

答 福祉事務所がない嘉手納町の子どもの貧困率を推計することは困難。本町では独自の貧困率がないため、目標を設定することはできない。

問 嘉手納では貧困で当たり前の

生活が保てない子どもの数は、29・9%の貧困率で算出すると720人から750人程度と考えている。嘉手納町も人數的に多いと把握している。

問 ひとり親非課税世帯へ学童保育料半額免除制度を全額免除制度に改定できないか。

答 ほかの市町村も貧困対策の減免という制度を行っている、現在全額免除は考えていない。

問 ひとり親非課税世帯に対する制度の導入は。

答 就学援助制度を申請し無料活用できる世帯であり、本町での取り組みは、町内の無料塾への入塾をすすめ、学習支援を行い、塾代クーポン引換券1万円の交付は考えていらない。

問 県民意識調査で、基地問題の

解消策26%を抜いて、子どもの貧困対策が42%で関心が高い。

答 嘉手納町の解決策・方針は。

答 子ども支援コーディネーターの配置と就学援助の対象者拡大を図った。また、本町では給食費の無料化や学童保育の減免、子ども医療費を中学生まで助成。今後も、沖縄県の貧困対策計画に沿共同使用に対する要請を行つた。

つて事業をすすめる。

**文化団体の  
県外派遣事業を問う**

問 2020年に横浜DeNAベイスターズ県外応援ツアーに行

政区エイサー団体の県外派遣継続事業として、公式戦前のアトラクションでエイサー演舞を行

い、嘉手納町の物産展の開催や、球場内で嘉手納観光のアピールをする事業ができないか。

答 嘉手納町の現状を考えた際、横浜スタジアムの規模、観客数など、町内の団体や事業所で果たして対応が可能かなど、規模的ににおいて難しい面はあるが、他市町村の事例等も参考にしながら、嘉手納町の観光をいかにアピールしていくのか等、今後の課題とし、嘉手納町独自の方向性を調査研究する必要があると考える。

**嘉手納マリーナ共同使用を問う**

問 過去に嘉手納マリーナ返還要請や、共同使用等の要請は。

答 嘉手納マリーナの返還要請は1988年4月から1989年9月にかけて3回行つている。共同使用に対する要請を行つた。



嘉手納マリーナ共同使用を

ことはない。  
兼久海浜公園リニューアル計画に伴い、嘉手納マリーナの共同使用の要請ができないか。

答 兼久海浜公園リニューアル事業は当該区域までの基本設計の実施であり、嘉手納マリーナを含んだ計画ではなく、嘉手納マリーナの共同使用の要請は、現在検討を行っていない。

問 嘉手納マリーナ共同使用に伴い、嘉手納町の負担率と負担額は。その負担額を、国に対しても負担させることはできないか。

答 本町が当該地区を共同使用した場合、年間使用料は1億3600万円の9割、1億2240万円程度の使用料が必要となる。国に対し使用料の負担をさせることは大変厳しいと考える。



**問 駐車場は町民の利便及び地域商工業の活性化を目的につくられたと思うが、現在はいつ行つてもいっぱいの状態である。その改善に向けて、どのような対策を行おうとしているのか。**

沖縄市では公共施設駐車場周辺の事業者に対し、従業員が駐車していないかなど、利用状況に関する訪問調査を行つて、嘉手納町でも現地調査を行つて



満車状態が続く新町駐車場



常に満車状態の役場駐車場

**問 一括交付金または観光庁予算を活用し、新たな観光資源として活用できなか?**

答 水陸両用車は利用客より料金を徴収し運営する事が想定できるので、基本的には民間等で



奥間政秀

はどうか。

**答** 商工会や通り会等と話し合いながら、アンケート調査や意見交換会を行つていきたい。

**問 嘉手納町ではこれ以上平面に土地を伸ばせないため、駐車場を立体化しないと駐車場問題は解決しないと思うがどうか。**

**答** 駐車場が満車になるようになつたのはつい最近である。何が原因でこのような状況になつてゐるのか、まず考える必要があると考えている。

町が導入する場合は費用対効果を考えなければならないため補助金等の活用が必要となる。官公庁補助メニューを確認したが対象となるメニューがないため町で導入する考えは持つていない。

町が導入する場合は費用対効果を考えなければならないため補助金等の活用が必要となる。官公庁補助メニューを確認したが対象となるメニューがないため町で導入する考えは持つていない。

**問 買い物客や事業者も役場前の行政センター駐車場を利用できるようにできないか。**

**答** 役場・沖縄防衛局・ロータリープラザ等公共施設利用者を対象とした駐車場であるため、平日は買い物客や事業者向けの利用は考えていない。

**問 買い物客や事業者も役場前の行政センター駐車場を利用できるようにできないか。**

**答** 役場・沖縄防衛局・ロータリープラザ等公共施設利用者を対象とした駐車場であるため、平日は買い物客や事業者向けの利用は考えていない。

**問 観光協会設立のための人材の選定方法は。**

**答** 地域に密着した人材を確保するため、町内公募から必要に応じて募集の範囲を広げていきたくと考えている。外部委員からなる観光協会設立検討委員会の委員による面接を実施し、人員を選考予定。

## 観光振興を図れ

**問 観光協会設立のための人材の選定方法は。**

**答** 地域に密着した人材を確保するため、町内公募から必要に応じて募集の範囲を広げていきたくと考えている。外部委員からなる観光協会設立検討委員会の委員による面接を実施し、人員を選考予定。

**問 観光協会設立のための人材の選定方法は。**

**答** 地域に密着した人材を確保するため、町内公募から必要に応じて募集の範囲を広げていきたくと考えている。外部委員からなる観光協会設立検討委員会の委員による面接を実施し、人員を選考予定。

**問 一括交付金または観光庁予算を活用し、新たな観光資源として活用できなか?**

**答** 水陸両用車は利用客より料金を徴収し運営する事が想定できるので、基本的には民間等で

おいて導入を検討すべきものであると考えている。

**問 観光協会設立に関し、他市町村の観光協会と意見交換を行つたことはあるか。**

**答** 今後予定している。

**問 他市町村では総務省地域おこし協力隊制度を活用し、まずは員の雇用の移行を図るケースも見られるが把握しているか。**

**答** 北中城村では、制度を活用し

役所内に特別職・非常勤職員3人ほど雇用した実績があると聞いている。人員を公募していく中で、総務省の制度等も視野に入れながら検討していきたい。

**問 沖縄市の観光協会は3年前に大赤字になつたあと、市内、県内、県外の様々な力を入れ黒字転換したという事例がある。観光協会設立にあたり、副町長には情報収集とリーダーシップを発揮してもらいたいがどうか。**

**答** 観光協会を今年度中に設立するという日程的大変厳しいスケジュールであるが、担当課と協力しながら、観光協会設立に向けて努力していきたい。



石嶺邦雄

## パークゴルフ場の 進捗状況は

**問**パークゴルフのルールは至ってシンプル、子どもからお年寄りまで誰もが身近なスポーツとして手軽にできる三世代スポーツとして人気を集めている。

これまでのパークゴルフ場設置の質問に対してもドーム北側の多目的広場を活用して調査研究を行うとの答弁であったが、現在はどのような方向で協議されているのか。

ドーム北側での仮設的な整備で町民ニーズはどうか、今後はどうのように考えているのか。

答 現在、仮設的に9ホールを整備しており、平成30年度の利用状況は町内各種団体が7回利用していて、必要性については判断できない状況であるため、現段階では本格的な整備に向けた

検討は行われていない。

**問**町内で他の候補地はあるのか。  
**答**スポーツドーム北側多目的広場以外、候補地については検討されていない。

**問**最近、隣りの読谷村でも素晴らしいパークゴルフ場が完成し、オープンしており、施設整備や年間の維持管理を考えると嘉手納での設置は考えず、読谷を利用する方向に持つていった方が得策だと思うが当局の見解は。

また、その際には村外利用による金額の差額分を嘉手納町で助成しての利用、もしくは読谷村と交渉して嘉手納町料金でプレーできるよう要請できないか。

**問**議員提案の嘉手納町料金の設定等については他の施設の利用等にも関わることから、難しいものと考へる。

今後、読谷村の利用状況等を確認しながら、嘉手納での必要性を検討していきたい。

**問**嘉手納町料金だと他の施設との利用にも関係するので、あくまでも読谷で正規の料金を支払って、その領収書を嘉手納に提出したら差額分を返還するという方法は可能ではないか。

**答**差額分を戻すという方法につ

いても、やはり他の施設利用などに及ぶことになるため、こちらも慎重に協議をしていく必要があると考えている。

時間に変更はない。  
**問**今回の無償化により、市町村の負担は現在と比べてどのくらい軽減されるか。  
**答**現在、国が定める基準の利用者負担額から町が定めた利用者負担額の差額については町の一般財源を用いて独自に利用者負担の軽減を図っている。実際に軽減される額が幾らになるか、現在慎重に精査している。

**問**今回の無償化の中には給食費は含まれておらず、保護者負担だと聞いているが、小中学校と同様に浮いた予算でカバーできないか。  
**答**先程お答えした通り、軽減される額がどれくらいになるか精査している段階であり、給食費については実費負担になる見込みである。

**問**希望する園に入所できるとは限らないが、親からの他の園への希望がない限り、そのまま継続して同じ園に通えるように配慮はしているか。  
**答**保護者からの園の移動希望がなければ、翌年度も継続して通えるよう配慮している。



パークゴルフで町民の健康促進を

**問**政府は幼児教育・保育の無償化のための子ども・子育て支援法改正案を閣議決定しているが、無償化による影響について町ではどのように考えているのか。  
**答**現在の幼稚園の預かりの時間と保育所の保育時間はどのようにになっているのか。また、10月以降、両方の保育時間に変更はないか。

**答**幼稚園・保育所両方とも実施

**問**希望する園に入所できるとは限らないが、親からの他の園への希望がない限り、そのまま継続して同じ園に通えるように配慮はしているか。  
**答**保護者からの園の移動希望がなければ、翌年度も継続して通えるよう配慮している。

が必要で、買い物カートは、介護保険給付対象外。他市町村の動向も踏まえ検討していきたい。

**問 腰掛けられるシルバーカートの確認は。**

**答** シルバーカートは、毎月258件の利用があり、介護保険の福祉用具貸与事業の中で貸与が可能。

## シルバーカートの導入を問う



志喜屋 孝也

## 問 高齢者の買い物難民と健康促進のためのシルバーカート（荷

**答** シルバーカードは要介護認定が必要で、買い物カードは、介護保険給付対象外。他市町村の動向も踏まえ検討していきたい。

**問** 本町でのこと2～3年の交通事故発生件数と内容は。

## 交通事故防止のために 通学路交差点の安全対策を



## 高齢者の行動範囲を広げるシルバーカート

段などの段差をスムーズに昇降できる。

**問** 高齢者の体力づくり、行動範囲を広げるための対策、通りながら、ちょっと休めるシルバー・スポーツの必要性は。

**答** ふう体操・水中運動教室・じんぶん俱楽部・老人クラブの舞踊、カラオケ活動を高齢者の生きがいづくり支援。行動範囲を広げる対策は、タクシー利用助成事業を7月より開始。

**答** 現場を確認し、対処方法を関係機関と協議を持ちながら必要な所については設置していきた  
**欲しい。**

## 新町駐車場の

現状、管理を問う

交通安全教室は日曜参観等を通して危険個所等は確認していく。何がどのように危険かしつかり把握させていく。

**答** 4月は北谷町、沖縄市、那覇市、5月は北中城村、北谷町2件、沖縄市等で酒気帯び運転、飲酒検知拒否で現行犯逮捕されている。

# 道路公通法違反を問う

**問** 現状の問題点は  
**答** 日中は満車状態のため商店街を利用する方が駐車できない  
**問** 開門時間と閉門時間は。  
**答** 午前6時開錠、24時施錠。  
**問** 閉門後の駐車車両の確認と対策は。

**答** 水釜3件、嘉手納1件、屋良1件。酒気帯び及び酒酔い運転、合計5件。

**問** 過去2～3年内の米軍による町内での道路交通法違反件数とその内容は。

**答** 嘉手納基地に関わる事案は三

**答** 施錠と開錠の際駐車車両の確認し、張り紙をし、移動するよう注意喚起している。

**問** 米空軍との話し合いは。  
**答** 嘉手納基地に関わる事案は三連協、または町独自で抗議要請し、意見交換を行つてゐる。

**答** 設置費用、維持管理費から費用対効果の面から導入は厳しい。

長時間の放置には陸運事務所などに車両照会し、直接連絡をとり移動するよう注意している。

## 米空軍兵等の相次ぐ

道路公通法違反を問う

**答** 濁気帶び運転により有罪となつた場合は、最低1年の免許停止が課される制度がある。



田仲康榮

報告。

## 問 湧水利用農家や町民等の調査

答 住民の不安を払拭するため、広報やホームページで湧水を飲用しないよう掲載し注意喚起したい。

## 問 泡消火剤は現在使用されているか。

答 消防署として平成22年以降のPFOsを含む泡消火剤の使用実績はない。

## 問 県と連携し基地立ち入りを。

答 水道水やその源水に関する調査は県企業局、水資源に関する調査は県環境保全課で実施の運びであり、動向を注視したい。



基地内から雨水排水が比謝川上流域に流れ込む排水溝(6月10日 基地地下道近く)

## 問 汚染箇所の注意看板「飲料禁止」の表現の適切な見直しを。

答 汚染3か所が屋良共栄会の拝所であり町が立ち入りを禁じることは適切でない。水に触ることは問題ないと県から通知を受けている。

## 問 汚染箇所の水質調査、土壤、小動物、植物の影響調査を。

答 PFOs等が混入した農業用水の農作物への影響、水生生物、汚泥の調査を県に要請している。



PFOs(毒性化合物)で汚染された屋良シリーガー(5月24日 町内屋良)

手当は、など不安や怒りの声がある。不安の解消、労働条件の改善はこれから重要な課題となる。臨時・非常勤(嘱託)の非正規職員が行政サービスの重

## 問 泡消火剤は現在使用されているか。

答 消防署として平成22年以降のPFOsを含む泡消火剤の使用実績はない。

## 問 県と連携し基地立ち入りを。

答 水道水やその源水に関する調査は県企業局、水資源に関する調査は県環境保全課で実施の運びであり、動向を注視したい。

要な一翼を担つており、非正規職員の雇用の安定と待遇の改善は極めて重要だ。自治体に働く非正規職員の時給・日給は「財政が苦しい」と据え置かれたままが多い。臨時・嘱託等の雇用、労働条件の引き下げがあつてはならない。任用制度の見解・対応・制度の概要・制度導入に伴う各課の対応を問いたい。

## 答 任用制度は平成29年5月公布の地方自治法一部改正、地方公務員法の改正により創設。根本的に同一労働・同一賃金の考え方。

勤務時間と勤務日数がフルタイム職員とパートタイム職員に分類され、1日あたり7時間45分(フルタイム)、短い時間(パート)の勤務で任期は1年。

6月3日時点での嘱託員は、18人、臨時が76人で、合計194人。制度導入後の給与等は

臨時、嘱託ともに現在の支給額相当以上になる。

## 会計年度任用職員制度を問う

## 問 法律改正によって2020年4月から臨時・嘱託職員の大半は会計年度任用職員へ移行される。移行での雇用や労働条件が決まる重要な段階で、関係職員から安心して働けるか、給料や

答 県環境保全課からは、宜野湾市大山の調査結果として農作物からはPFOs検出されずとの把握・対策は。

答 県環境保全課からは、宜野湾市大山の調査結果として農作物からはPFOs検出されずとの



田崎 博美

検討しているところである。

**問** 工コライフ推進の観点から牛ごみの堆肥化モデル事業を実施すべきと思うがいかがか。

**答** 現在検討している2件に関しては、費用対効果、継続性を検証したあと、一部地域で実際にそれぞれの方法で堆肥化が持続できるのか検証していく予定です。

ごみの減量化を問う

## 問 一般廃棄物も地域から溢れ出

してい。リサイクルされるごみもあるにはあるが、ほとんどが投棄されるか焼却されている状態である。ここにきて自分たちが捨てたごみが自らの健康を害し、自然破壊や環境汚染という形で襲いかかってきている。ごみ問題は導火線に火がついている状態だ。だからこそ今までを出さない生活が求められて

ごみの減量化、生ごみの堆肥化、飼料化を真剣に考える時期に来て いると思うが、生ごみの堆肥化事業の推進について、何件の構想を位置づけて いるかを伺う。

**答** 現在実施している家庭用電気  
生ごみ処理機購入補助に加えて、  
2件について検証準備を進め、

これらを検証してみると、モーデル事業化は厳しいと思われる。

コンポスト事業は生ごみの減量化につながるような事業であるので、問題点はいろいろあるが、低コスト、広い用地が必要のない施設等を調査研究しているながら、今後、ごみ焼却施設、

ジ袋を持ち帰らないとか、そういう入り口のところからの努力も必要であるし、当然リサイクル、これまでの3Rも含めた取り組みが必要になつてくる。今、ごみ問題は特に最終処分

今、ごみ問題は特に最終処分場の延命化を図るという意味では、どの市町村も大きな課題となつてていると思う。これまで減量化についての取り組みが十分ではなかつたところがあるので、はないかと感じているところである。いろいろな意見を踏まえて、ごみの減量化に向けて取り組んでいきたい。

**問** モデル事業を構想し町民にアンケート調査を実施したことはあるか。

**答** 生ごみの観点からではなく、草木チップの観点から堆肥化に対する必要性を感じるかという内容の調査を実施した。

問 経費のかからない段ボール工  
ンポスト、昆虫テクノロジーによつて生ごみや糞尿などの有機物を約1週間で肥料、飼料化する技術等、様々な取り組みや実験がされている。

我々も減量化にむけた意識の向上を図るべきだと思慮する。ごみ減量化に向けた町の考えは、まずはごみを増やさないとい



## 循環型社会の構築を図れ



徳里直樹

## 子どもの

## 虐待防止対策の推進は

定妊婦への適切な支援を行う場となっている。  
問 「児童虐待防止対策の強化による徹底・強化への対応は。」  
答 安全確保を最優先とし、児童相談所やその他の関係機関と連携を密にし、切れ目のない支援を行つていきたい。



虐待防止対策の推進を図れ

## 要保護児童対策地域協議会の内容は。

答 児童家庭に関する実情の把握、情報の提供、相談対応、また調査、指導、関係機関との連絡調整を一体的に担う。

## 要保護児童対策地域協議会の内容は。

答 要保護児童、要支援児童、特

設置された屋根付きバス停の不具合箇所の補修及び植栽の適正管理への早急な対応を求めたがその措置状況は。

答 県道に設置されたバス停については、平成30年度に設計を行い、平成31年度に補修工事を行う。

植栽管理は、雑草対策に関する技術の活用や道路ボランティア団体を募り、道路景観の創出、向上に努めていく。

## 県営嘉手納高層住宅の出入口

の抜本的な対策及び防災・避難対策への対応は。

答 住民からの理解が得られるまで、今後も嘉手納町と連携して協議していきたい。

## 平成31年度、県に対する本町の要望事項及び対応は。

答 水釜海岸の被災した堤防の早期なる復旧並びに当該地域の浸水被害を完全防止する強靭な護岸整備の実施、災害復旧工事等に関する工程等の説明、被災した住民が不安を抱いているため、県による被害調査の実施を要望した。

## 要望事項に対する沖縄県の措置状況は

問 平成30年度に沖縄県へ県道に

## 自治会加入率の現状は

## 本町6自治会の加入率は。

答 平成29年度実績で、東区74.0%、中央区67.1%、北区68.5%、南区72.4%、西区67.3%、西浜区59.6%、全体平均は67.3%。

## 課題と対応は

答 未加入の住民や、新たに転入してくる方々へ自治会活動の重要性や自治会へ加入することで自身が得られるメリット等を周知しつつ、活動参加の呼びかけを行う。

## 住宅政策事業に対し、自治会の加入を促す仕組みづくりを実施してはどうか。

答 有効な施策にはなると思う。担当課と調整しながら検討していきたい。



自治会の加入促進を

## 嘉手納町環境対策調査特別委員会を設置



左から 新垣貴人議員、安森盛雄議員、田仲康榮副委員長、田崎博美委員長、知念隆議員、照屋唯和男議員、當山均議員

本町においては、PFOS等有機フッ素化合物検出問題、嘉手納基地に駐機される航空機による悪臭問題、ごみの処分に関する問題等、町民の生活環境を脅かす問題が多発しており、これら課題への早急な調査が必要となつていて。これらの問題・課題に特化し、より多角的な観点で調査を行うため、新たに「嘉手納町環境対策調査特別委員会」を設置した。

## 町内の交通事故多発地点の解消を!

総務財政常任委員会と嘉手納警察署で情報交換

総務財政常任委員会では、町内道路の事故多発地点の調査を行うにあたり、6月19日に嘉手納警察署交通課と交通安全対策等について情報交換を行つた。各委員からの質疑応答は、次の通り。

**問** 水釜交差点、国道から県道74号線へ至る三叉路等の信号機を右折矢印に変更は可能か。

**答** T字路交差点に右折矢印は、逆に葬斎場へ至る交差点には、時差式を検討する。

**問** 南区自治会前に横断歩道の設置は。

**答** 交通量（横断者含む）を調査する必要がある。

**問** ドーム前に信号機の設置は。

**答** 施設の利用率や事故件数から現時点では厳しい。



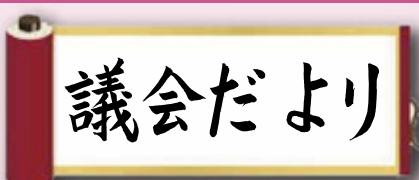
意見交換会



道路調査

※その他、高齢者の免許返納件数やハンドブレーキ設置、交通事故発生状況などの説明を受け、一件でも事故を減らしていく努力をするとのこと。

## 題字紹介



嘉手納中学校3年 津波も望花

今日は「議会だより」の題字を書くという良い経験ができてとても良かつたです。ありがとうございました。  
「議」という漢字は画数が多くて難しかったです。  
これからも書道を頑張っていきたいです。

## サークル紹介



毎週水曜日、午後7時から9時半まで町福祉センター1階で自由に陶器づくりを楽しんでいます。中央公民館まつりにも作品を出展しています。

現在、会員は17名。  
会長は上地義次さん。

陶芸に興味のある方はぜひ見に来て下さい。

### ・サークル募集!!

サークル紹介コーナーへの掲載をご希望のサークルは、議会広報調査特別委員会までご連絡ください。

## 「嘉手納町陶芸サークル」